

## 小平市議会 市民と議会の意見交換会(議会報告会)

※ 議会は合議体であり、内容によっては議決が必要なものもあり、要望や個別的課題についての回答は決定事項ではありません。

種類 [ 質問、要望、意見 ]

平成27年7月11日開催

種類	内 容	議会報告会での回答
○ 6月定例会の報告について ＜上水新町地域センター＞		
質問	青少年センターはどのようなことを見込んで青少年センターとしたか。	当初は地域の子どもたちがふらっときて遊ぶなど居場所づくりのため設置したが、周辺に児童館や地域センターができるなど、時代の流れにより施設自体の利用者が少なく、予算面を含めて廃止となった。
質問	学童クラブの定員に決まりはあるのか。	学童クラブごとに定員の設定がある。2年連続して21名以上の申し込みがあった場合、第2、第3と増設していくことが決まっている。
質問	安保法案について政和会と市議会公明党がなぜ反対したのか。議論を尽くさないでよいのか。	議論を尽くすことでは一致している。安保法制は国会で議論されており、賛否が政党で分かれることから、市議会として決をとることに抵抗を感じた。また、安保法制に反対の一方的な立場から書かれていたため、小平市議会初の議員間自由討議を行い、両論併記の委員会案としてまとめ、提案したが、残念ながら請願提出者の同意が得られず反対となった。
質問	辺野古の問題は小平市として意見書を提出する意味があるのか。国の問題は国会議員がやるべきで小平市議は市政のことは行うべきであると思うがどうか。	地方自治法第99条において国、東京都等に意見書を提出できる権利がある。遠く離れた自治体であっても関係ないという捉え方ではなく提出した。
質問	消防ポンプ車を2,000万円以上で購入することだが、高額すぎるのではないか。	消防団第九分団の消防ポンプ車を購入するものである。特殊な機能や設備があり特別高額というわけではないと考えている。
質問	総務委員会での議員間自由討議のメリットをどのように感じたか。	議員間自由討議は大変やってよかった。賛否が分かれても、自由討議により、議論の論点、問題点が明確になる。合議を導き、議会を活性化するために行った。
＜花小金井南公民館＞		
質問	市長提出議案について、議案が出される前の動きは。	パブコメがある場合は、幹事長会議で報告。議案提出時には会派ごとに副市長から事前説明がある。
質問	青少年センターをなぜやめてしまったのか。若者対策についての考えは。	若者のニーズと合わなかったことと、利用者がふえなかったことが理由で、現存する3つの児童館などで青少年センターの機能を補完できるという結論となった。若者施策については青少年育成プランで定められており、後退しないよう議会としてチェックし提案していく。

種類	内 容	議会報告会での回答
質問	学童クラブ条例改正についてどんな反対意見があったのか。	国が子ども・子育て支援新制度で示した基準、例えば1人当たりの専有面積や小学校6年生まで受け入れること、また障害児の受け入れ拡大など、学童クラブの新設時を捉えて改善しなければならないのに総合的な整備方針がなく、そういう姿勢が見られないということでの反対討論があった。
要望	マンション計画について小平市独自の条例をつくることを要望する。	
質問	請願第2号は国政についてどのような効果を狙ったものか。	地方自治法で定められた権能をもって提出したものである。
○ 市政全般について ＜上水新町地域センター＞		
質問	地方分権や新しい公共という考え方があるが、まちづくりについて再考を求められている段階に来ているのでは。市民から意見を求めないのか。	その時々テーマを持った特別委員会を設置し、特別委員会で話し合っていく。また、市民意見についてはまさしくこの意見交換会が施策に発展させる貴重な意見をいただける場と考えている。
質問	昨年、防災緊急初動要員の訓練に参加したか。また、来年度以降参加の意思はあるのか。参加した際には備蓄倉庫のチェックをしてほしい。	初動要員は市の職員が割り振られているから回答は控えさせていただくが、必要に応じて参加の意思はある。
質問	府中街道の住民投票が行われ都の施策なのに多額なお金をかけたが、小平市が巻き込まれていることに違和感を感じているがいかがか。	住民投票制度は常設型住民投票と個別型(非常設型)住民投票がある。今回の小平都市計画道路3・2・8号線の場合、非常設型であったが住民がどのような意向であったかを東京都に伝えるということが考えであった。
要望	美大通りに東西に走る道ができたことにより中学生、小学生の通学路が変化し、クランクを渡ることになり危ないと感じている。	
質問	3月にごみ処理事業基本計画がつけられたが市議にも伝わっていない。建て替えが迫られているが内容が示されていない。HPだけで市民に知らされていないことについてどう感じるか。	小・村・大(小平・武蔵村山・東大和)という3市で共同処理場があり、そこに別に組合議会があり審査しているので情報が入りづらいのは確かである。今後市民に情報提供できるようにしていく必要を感じている。
質問	(コミバス・コミタクについて)中島町にはバスがないが走らせてほしい。全体としての取り組みについてどうしていくのか。	中島町はB地区に設定され、B地区にはまだ走っていない。議員と市民が連携して行政に働きかけることが必要と考える。
要望	新しい道路ばかりできて既存の道路はどうするのか。たかの街道はいつこうに変化がないがどうかしてほしい。	コミバス、道路の件など直接市民の方と話す機会がなかった。今後このような貴重な意見を吸い上げ、全議員で取り組んでいく。

種類	内 容	議会報告会での回答
質問	小平都市計画道路3・3・3号線はどうなっているのか進捗状況を聞きたい。	整備計画により着手する順番が決まっていく。現在東京都において第四次事業化計画を作成中だが、小平都市計画道路3・3・3号線がここに入るかどうかは今の段階ではわからない。
要望	小川町一丁目地域センターを利用しているが、子どもたちがお菓子を持ち込んでいる。本来の児童館の役目からするとどうかと思う。飲食の禁止を検討してほしい。	
要望	一般質問は映像が見れるが、委員会のやりとりも見たいのでHPIにアップしてほしい。	議会改革の取り組みで、まずは本会議のネット録画中継が始まった。今後は予算面も含め充実を検討し、市民へのPRを考えていく。身近な地域問題への取り組みについてのご意見は真摯に受け止めて参りたい。
要望	バスやごみの問題など、小平市の問題が山積している。オスプレイや沖縄の辺野古基地、安全保障をやるよりも、地域のことに取り組んでもらいたい。	身近な地域問題への取り組みについてのご意見は、真摯に受け止めて参りたい。
質問	この集まり(意見交換会)をしての課題をどのように捉えているか。	今後は意見交換会でいただいた意見をもとに政策提言につなげていきたい。個々の議員の意見ではなく、28人の合議として行政にぶつけたい。
要望	いじめ対策について教育委員会で話し合っしてほしい。といういじめ問題については結局は家庭の問題だと思う。	
要望	通学路の安全対策の問題について、子どもを守る目線で考えてほしい。	通学路に防犯カメラを設置していくことが決定した。
要望	下校時間に立川市では防災無線を使い「子どもが下校しています」という放送を流すが、なぜ小平市ではやらないのか。	小平市は、防災行政無線は緊急時のためと位置づけている。放送については今後も議員同士で議論し、政策提言につなげていきたい。
<花小金井南公民館>		
意見	市役所と市民の距離が遠いと感じており、それを埋めるのが議員であると思っているが、選挙前ぐらいしか触れ合う機会がなく、このような会は定期的にやってほしい。	
要望	地域の情報が集まる民生委員待機所の仕組みをつくれないうか。	

種類	内 容	議会報告会での回答
要望	隣家が3年前から空き家であり、樹木が繁茂している。塀が傾き、不安である。	条例や法律に基づく対応について確認する。 (※後日、担当課につなぎ直接連絡)
要望	7本の都市計画道路が都市計画マスタープランの骨格になっているが、小平市本来の水と緑を守る計画にしてほしい。	
意見	小平市には11の公民館があり頻繁に利用するが、空き家を公民館として活用できないか。	
要望	市議会は、決定する前に市民の声を聞いてほしい。	
意見	マンション開発の際の付加設備(保育園やディスポージャー等)についての規定を入れた条例をつくるべきではないか。	
意見	人口減を前提とした都市計画の見直し、市の方針を考えてほしい。	
意見	今後の公民館11館、地域センター19館の建て替え計画についていち早く検討するべきではないか。	
意見	他市から参加しているが、地域に根差した、身につまされた問題を議論して、いい意見交換会である。	
要望	広域的な意見として、西武線への地下鉄乗り入れを国や都に要望してほしい。	広域連携についてはこれからの大きな行政課題であり、沿線の市が団結をして進めるべきところと考えている。
意見	西東京市では、はなバスを花小金井駅へ乗り入れるべしというパブリックコメントが出た。議会同士で連携ができないか。	コミュニティバスについては意見交換がされているものと認識している。コース等について広域連携で考えていくべきものだが、現在は検討課題である。
要望	情報のバリアフリー化として本会議場に磁気ループを設置してほしい。	

種類	内 容	議会報告会での回答
要望	情報のバリアフリー化として高齢者のしおりなど、視覚障害者でも情報が手に入る仕組みをつくってほしい。	
要望	交通のバリアフリー化として音声信号を整備してほしい。	
意見	政策の効果を測定(指標化)できるシステムづくりを。	
意見	合計特殊出生率などわかりやすい統計情報を提供し、何にでも数値の裏づけを。	
要望	障害児の学童クラブ受け入れについて、枠があり自校のクラブに通えない状況を改善してほしい。	
要望	マイナンバー制度について、どこまで活用されるのか議会として市民にわかるようにしてほしい。	
意見	公共施設マネジメント調査特別委員会として市民の意見を聞く機会を設けられないか。	今のところ予定はないが、市の素案について特別委員会の意見反映ができるように、委員会日程が追加された。